



題字 和泉 哲章

(新潟県書道教育研究会理事 新潟市立白南中学校長)  
NO. 4 令和5年1月12日(木)  
発行 新潟県NIE推進協議会事務局

## 「令和の日本型学校教育」とNIE

新潟市教育委員会 教育長 井崎 規之



今年度から、高等学校においても新学習指導要領が年次進行で実施され、幼児教育から高等学校教育までが「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた保育・授業改善の視点で貫かれました。学ぶことに自ら意味を見出し、自らの興味・関心に応じて粘り強く学び続ける「主体的な学び」や、他者や先哲の考え、自己との対話をとおして、考えを深める「対話的な学び」のある授業が、ICT端末を利活用しながら展開されています。

そして、「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点も加わりました。現在、多くの教室で行われている授業は、知識・技能の習得だけでは

なく、児童生徒が課題を発見し、学校内外のひと・もの・ことと関わり、協働して学びを進める探究的な授業へと転換しつつあります。

新潟県NIE推進協議会が行っている実践研究委嘱校への研究助成や出前授業等の支援、各種コンクールの開催等は、実社会での課題解決に向けた教科横断的な学びを支えるとともに、主体的な学びに挑戦する機会となっています。また、各実践研究委嘱校の研究発表会では、児童生徒がICT端末を活用して新聞から情報を読み取り、自分の考えを形成し、アウトプットする実践が報告されています。これらの取り組みの一つ一つに、「令和の日本型学校教育」を構築する可能性を見出すことができるのではないのでしょうか。

新潟市でも、文部科学省の示す第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」の周知や新潟市NIE指定校事業等をとおして、より探究的で協働的な学びや、児童生徒一人一人の進度や関心、目的意識に応じた学びを保障できる学習環境の整備に努めて参ります。

時代の流れを記録し続け、確かな情報源である新聞が身近にあること。そして、幼児教育から高等学校教育までの学びにおいて、発達段階に応じて、新聞の多様なテキストや表現、写真等の資料に触れる学びを位置付けていくこと。このような、長期的かつ一貫した教育が、時代の流れを読み、新たな未来と価値を創造する人材を育てることにつながっていくのではないかと考えます。

新潟県NIE推進協議会の活動がさらに充実し、「令和の日本型学校教育」と新聞活用教育の関連性が高まり、児童生徒主体の探究的な学びができる環境整備の推進がより一層図られることを期待します。

## 市町村教育委員会を訪問

令和4(2022)年、伊藤充会長と津野庄一郎事務局長及び各新聞・通信社の支局長・総局長が、NIEに対する理解と協力を得るために教育委員会を訪れました。例年の新潟県及び新潟市に加え、2つの教育委員会をNIE研究会開催時期に合わせて訪問し、NIE推進協議会の主な事業概要の説明と学校図書館への新聞配備等をお願いしました。

<訪問した教育委員会は、以下の通りです。>

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ・新潟県教育委員会 (佐野哲郎教育長) | ・燕市教育委員会 (小林靖直教育長)   |
| ・新潟市教育委員会 (井崎規之教育長) | ・小千谷市教育委員会(松井周之輔教育長) |

## 写真で見る N I E 実践研究委嘱校の取り組み（令和4年）

今年も全12校でN I E研究会（2年目）及びまとめの授業研修（1年目）が、予定通り実施されました。詳細は、[新潟県N I E推進協議会ホームページ「お知らせ」](#)をご覧ください！

### <2年目校（N I E 研究発表会）>

#### ○ 上越市立大潟町小学校（石田永校長・NIE 担当 堀川瑛里那教諭）



#### ○ 燕市立大関小学校（大竹正宏校長・NIE 担当 永野真衣教諭）



#### ○ 新潟市立白根小学校（井浦順子校長・NIE 担当 高橋健一教諭）



#### ○ 小千谷市立小千谷中学校（若林靖人校長・NIE 担当 井上北斗教諭）



○ 新潟市立岩室中学校（本多豊校長・NIE担当 宮下秀樹教諭）



○ 新潟第一高等学校（藤澤健一校長・NIE担当 五島 拓教諭）



＜1年目校（NIEまとめの授業研修）＞

○ 長岡市立越路小学校（栗林一志校長・NIE担当 坂井大空教諭）



○ 胎内市立胎内小学校（池田裕之校長・NIE担当 新野真希教諭）



○ 新潟市立松浜小学校（小坂井秀行校長・NIE 担当 小池誠一教諭）



○ 柏崎市立南中学校（池嶋正隆校長・NIE 担当 小沢優貴教諭）



○ 出雲崎町立出雲崎中学校（佐藤登校長・NIE 担当 久保田ひとみ教諭）



○ 新潟県立長岡向陵高等学校（早川智校長・NIE 担当 櫻川景典教諭）



< 編集後記 >

10月末からスタートしたNIE実践研究委嘱校の研究発表会（2年目）及びまとめの授業研修（2年目）を参観させていただきました。多くの学校で子どもたちにICT機器を上手に活用させ、新聞記事を基に対話的で、思考や表現を促す活動が見事に展開されており、新しいNIEの可能性を実感することができました。

子どもの新聞離れ、活字離れが叫ばれて久しいですが、新聞には他のメディアにはない発見メディアとしての力、また深い学びを促すメディアとしての揺るぎない価値があります。デジタルを含め新聞に触れる環境整備の充実を図り、本県のNIEの歩みを進めていけたらと思います。  
（事務局長 津野庄一郎）